

はなわ

2019 3

平成31年3月1日
No.664



丹精込めた
作品が幸せを届ける



Contents (主な内容)

埴町地域公共交通網形成計画 …… P 2～3

地域おこし協力隊体験記 …… P 4

埴町子育て世代包括支援センター開設… P 5

つるし雛祭りに多くの来場者

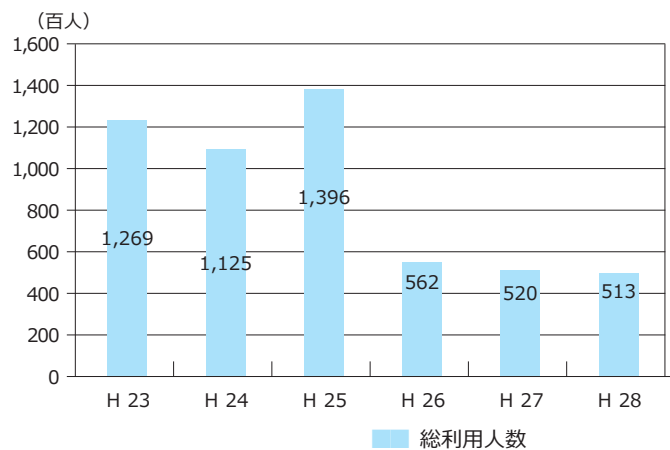
はなわのつるし雛祭りが、2月16日(土)から3月3日(日)まで、埴町コミュニティプラザで開催されました。埴町観光協会の主催、製作は「キルトメイトはなわ(代表:金澤行子さん)」。2年に一度の展示会で、つるし雛の他に、雛人形やタペストリーも展示され、会員の手作り作品が多くの来場者を魅了しました。

身近で便利な「生活の足」の実現を目指します

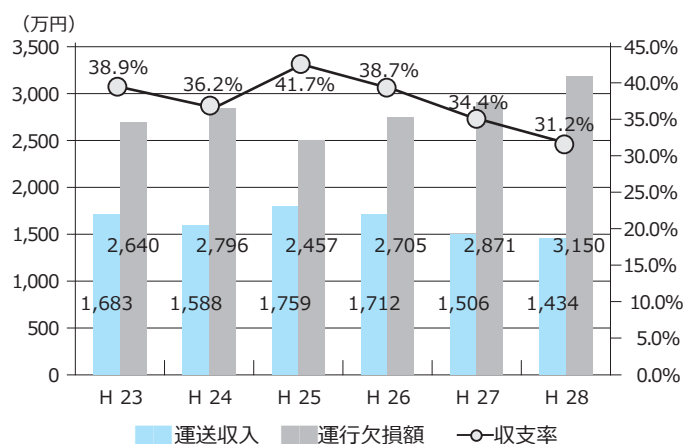


「お出かけの足」となる公共交通

埴町の公共交通の現状（路線バスの利用者数と欠損額）



左のグラフをご覧ください。これは、平成23年から平成28年の路線バス利用人数と運送収入、欠損額、収支率を表したグラフです。平成26年から利用人数が減少し、それに伴い欠損額も増加しています。アンケート結果からも、運転手の対応や車両の設備などには満足している一方で、運行本数や運行時間などには不満があることが分かりました。利用者のニーズなどを考えながら、より良い公共交通のあり方を検討していく必要があります。



埴町を走る路線バスは、福島交通に委託し、県内13市町村で「市町村生活交通路線バス」として運行しています。13市町村全体の経費を、市町村ごとの走行距離で按分した費用から、埴町の路線を走って得た収益を差し引いた運行欠損額を支出しています（平成30年10月から12市町村）。

ただし、財政支援として県補助金と特別交付税の対象となっているため、町単費での支出は平成28年度で460万円程度となっています。

埴町地域公共交通網形成計画の概要

平成29年9月に住民の皆さま、高校1年生、埴町中学校3年生の合計約1700人を対象に「埴町のバス等公共交通に関するアンケート」を実施し、695人から回答をいただき、課題解決に向けて、以下の全体理念および方針に基づいて計画を策定しました。計画期間は平成30年度から10年間とし、方針に基づいた事業を定め、計画を進めていきます。

全体理念 山水花のまちづくりと定住自立を支える公共交通

- 方針1** 「まちづくり」と連動・整合する公共交通網の形成
【目標】地域拠点、にぎわい・生活拠点と一体となった交通結節機能の強化
【事業（案）】
① 鉄道とバス、タクシーの乗り継ぎに配慮した歩行者空間整備 ② 中心部内の移動しやすさの向上（バリアフリー化や移動補助具の配置）など
- 方針2** 地域特性に応じた交通手段・サービスの提供
【目標】誰もが使える持続可能な公共交通ネットワークの形成と運行ダイヤの構築
【事業（案）】
① 既存バス路線の統合・再編の可能性の検討 ② JR水郡線の運行維持・確保 ③ 新たな交通の検討、導入
- 方針3** 誰もが利用しやすい分かりやすい交通環境形成
【目標】分かりやすさ・利用しやすさの向上と公共交通に対する認知度アップ
【事業（案）】
① バスマップ、総合時刻表の作成、広報 ② 停留所や携帯端末などへの接近情報システムの導入 ③ 埴駅前バス待合施設の充実 など
- 方針4** 地域で考え・育て、多様な組織と連携する交通の仕組み作り
【目標】地域住民や商工・観光振興策との連携と新たな需要の取り込み
【事業（案）】
① 住民協働型交通の運行 ② 商店街やにぎわい拠点施設ホームページへのバス時刻表掲載 ③ 商店街やにぎわい拠点施設との連携した企画乗車券の発行など

■今後10年間の方向性を示す

埴町地域公共交通活性化協議会では、国の「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正に基づき、今後10年間の町内公共交通の方向性を示した「埴町地域公共交通網形成計画」を策定しました。利用が見込まれる免許返納検討層（70代から80代）と学生を対象とした「公共交通に関するアンケート調査」や、埴厚生病院通院者への聞き取り調査などを行い、課題を整理してきました。これらの調査結果を踏まえ、協議会の中で網形成計画に向けて議論を重ねました。

今年度は、網形成計画の内容に基づいて、高城地区を対象にタクシー利用料金助成制度の意向調査を行うため、試験運行を行いました。来年度以降も、実証運行や改



埴町のより良い公共交通のあり方を協議してきた「埴町地域公共交通活性化協議会」

■問い合わせ

埴町地域公共交通活性化協議会事務局（まち振興課地域づくり係）
☎（43）2112

善事業を行い、埴町の現状にあった、身近で便利な「生活の足」実現を目指します。

埴町子育て世代包括支援センターを開設しました

子育て世代の皆さんの悩みをお聞きします

町では、平成31年2月1日（金）に「埴町子育て世代包括支援センター」を健康福祉課内に開設しました。埴町子育て世代包括支援センターは、妊娠や出産、子育て中の方を支援するため、さまざまな疑問や不安についての相談を受け付けています。また、子育て期に役立つ情報の提供も行っていますので、ぜひお気軽にご相談ください。

■ご利用いただける方

埴町にお住まいの妊産婦や乳幼児のご家族のほか、子育てに関して不安や質問がある方

■場所

埴町健康福祉課（埴町大字埴字大町3丁目21番地）

■受付時間

午前8時30分から午後5時15分（土・日・祝日除く）

■主な業務内容

妊娠、出産、子育てに関する各種相談の受付窓口になります。直接相談を受け付けるほか、電話や訪問による情報提供や助言を行います。子育てなどで不安がある方は、一人で抱え込まず、お気軽にご相談ください。

■問い合わせ

健康福祉課 健康推進係 ☎43-2115



2月1日（金）に埴町役場に埴町子育て世代包括支援センターを開設しあいさつをする宮田町長



授業時数を確保し子どもたちに多くの学習機会を

夏季休業日は5日 冬季休業日は1日 小中学校の長期休業期間が短縮されます

■県南管内の教育委員会で実施

埴町教育委員会では、教育内容の増大に伴い、児童・生徒の授業時数を確保するため、平成31年度から夏季休業日（夏休み）を5日、冬季休業日（冬休み）を1日短縮することとしました。

これにより、今まで8月24日までであった夏季休業日を8月19日までとし、12月24日から始まる冬季休業日を12月25日から始めることになりました。なお、この変更は、県南管内の教育委員会で足並みをそろえて実施する予定です。

■授業時数の確保が喫緊の課題

新しい学習指導要領により、小学校では外国語科や外国語活動の時間が増え、プログラミング教育も始まろうとしています。一方で減る活動があるわけではなく、国民の祝日の増加や、平成31年度は新天皇の即位による休日の増加により登校日数が減るため、授業時数の確保は喫緊の課題となっています。これまで、土曜授業や行事の選定などにより授業時数の確保をしてきましたが、対応が難しくなってきたため、休業日を短縮して授業時数の確保をすることとなりました。なお、これにより給食費などの増額はありません。通学バスの運行についても現状通り実施します。皆さまのご理解とご協力をお願いします。

■問い合わせ
教育委員会 学校教育課
☎(43)4050

地元の食材はとて新鮮。地産地消に貢献しながら情報を発信し、外から埴町に人を呼び込みたいと語る下重さん



地域おこし協力隊体験記

Kawamura × Arimura × Hara



協力隊が作ったベビーリーフを使ったラーメンを考案した下重さん。山椒とお酢の効いたさっぱりとしたラーメンでした

2月の協力隊は、ダリアの定植に向けて、ハウスや畑まわりの整備の日々。ベビーリーフの栽培や土づくりなど、今しかできない作業を行うことができました。今回は、そこで出会った方々へのインタビューを掲載します。

●下重賢郎さん（竹之内）
50年続く食堂の3代目。地元食材を使って話題性のある料理を作り、埴町に人を呼び込みたいと日々考えていらっしゃいます。2月には期間限定で、私たちが作ったベビーリーフもアレンジしてくださいました。

「昔は種まき、田植え、稲刈りの時期に田んぼに出前を配達したものです。当時、農繁期は近所にお手伝いを頼んだりしましたから

ね。中学校にたくさん生徒や先生がいた時代も、それだけで忙しかったなあ。今は情報伝達社会、人も少なくなりましたから、これからはどんどん仕掛けて、発信していかなければなりません」と時代の変化に合わせていく苦労を話す下重さん。「今はスマホで手軽に情報を発信できる世の中。それを上手く活用して、埴町の食材の魅力を積極的に発信していきたいと考えています。地産地消に貢献しながら、外から埴町に人を呼び込む！料理を通して町のためになればいいですね」。地元食材の新鮮さはやはり抜群と話す下重さん。これからの食材の魅力を探求していきたいと笑顔で話してくださいました。

●鈴木良幸さん（山形）

昨年12月に、落葉堆肥作りのイベントを開催。町外からも参加者があり、協力隊もそこから継続して堆肥作りを教わっています。「土作りは農業の基本。堆肥を作るとその基本の仕組みを知ることができると、何より発酵の変化を肌で感じられて、楽しく取り組みます」。埴町にUターンして1年。ご実家の農作業を手伝いながらも、ご自身で自然農法による野菜

地域おこし協力隊トピックス （新隊員・原さん 毎日が発見）



毎日作業に汗を流す原さん

1月からのニューフェイス、原です。「ダリアを育ててね！」と任命されて、はや2カ月。畑はまだ黄土色ですが、鳥たちの声が聞こえる季節になってきました。さて、私が任命された1月は、芽吹きの季節を前に、畑の準備をする時期。地面から掘り出したダリアの球根を切り分けたり、雑草を抜いたり、畑のまわりの地面を防草シートで覆ったりもします。単調な作業かもしれませんが、毎日いろんな発見があり、退屈することはありません。はてさて、明日はどんなことがあるのでしょうか。

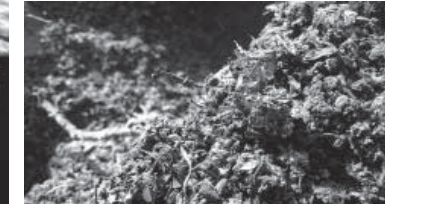
づくりを実践されています。「オーガニックの土作りは、3年間過ごした知多半島（愛知県）で学びました。愛知でも畑を借りて野菜を作りましたが、実家に戻ると先祖代々の土地があることのありがたさを実感しますね」と語る鈴木さん。ご自身の自然農法の農園を「ロックフォレストガーデン」と名付け、イベントを開催し町外からも若い人を呼び込んでいます。「中山間地の農業の可能性や魅力を、地域の方々と関わりながら発信したい。新しいアクションを起こし、町に人を呼び込みたいです」。

ご自身のスキルを町の魅力発信に生かし、人を呼び込もうとされているお2人。エネルギー溢るる姿に感銘を受けた訪問でした。

（記・川村）



（写真㊸）協力隊も鈴木さんから落葉堆肥づくりを教わっています（写真㊹）土作りは農業の基本。発酵の変化を感じることができて楽しいと語る鈴木さん



自己判断は危険です
無症状で進行します
「何も何ともない」、「去年も同じ結果で何も無かったから大丈夫」、「通院して薬を飲んでるから平気」など、

検診名	精密検査受診率(%)
健康診査	54.4
特定健康診査	41.6
子宮がん検診	100
乳がん検診	94.4
胃カメラ検診	84.2
肺がん検診	62.3
大腸がん検診	62
胃バリウム検診	60
前立腺がん検診	28.6

「表1」特定健診・健康診査・各種がん検診の精密検査受診状況(平成30年度精密検査受診結果報告書集計より)

【受診率が低い精密検査(要精検)】
「表1」は、平成30年度の埴町特定健康診査(40歳から74歳の国保)・健康診査(75歳以上)・各種がん検診の結果、要精検と通知された方の精密検査受診率です。特定健診の精密検査受診率は41.6%、がん検診は前立腺がん検診の精密検査受診率が28.6%と非常に低く、子宮がん検診(100%)を除き、まだ対象者全員が受診していない状況です。

平成30年度の特定健康診査(40歳から74歳の国保)・健康診査(75歳以上)・各種がん検診を受診した結果「精密検査(要精検)が必要」と通知された方は、医療機関での受診はお済みですか。

【新たな気持ちで健診を】
平成31年5月から、健診受診希望調査が始まります。その前に精密検査を受け、新たな気持ちで健診を申し込んでください。医療機関を受診する際は、保険証、健(検)診結果、健診結果に同封した「医療機関外来担当御机下」を忘れずに持参してください。また、継続して通院している方で「医療機関外来担当御机下」を医療機関に持参していない方は、医療機関への提出をお願いします。



健診は自分の体の状態を知るために大切です。結果が要精検の場合は、放置せずに医療機関で精密検査を受けましょう

自己判断で未受診のまま放置するのは危険です。糖尿病などの生活習慣病やがんは、初めは自覚症状がないまま進行するのがほとんどです。精密検査は体の中で少しでも異常となるものを見つかり、治療が必要なのかどうかを判断したりするために必要なものです。また、重症化させないために早めに受診することも大切です。

問い合わせ
健康福祉課 健康推進係
☎(43)2115



光が丘からの挑戦

—福島県立埴工業高等学校だより— Vol.11

なつて実際に動いてみたり、車いすです介護する側と介護される側の身体的・心理的特徴について理解したりすることができました。例年、この学習を通して、高齢者を人生の先輩として尊敬する心を育み、高齢者を豊かに生きるために



車いすで移動することの大変さを学びました

【高齢者疑似体験と認知症サポーター養成講座を実施】
2月12日(火)の総合的な学習の時間で、社会福祉協議会などから講師をお招きし、1年生を対象に高齢者疑似体験と認知症サポーター養成講座を実施しました。高齢者疑似体験では、体験セットを身に付け、体や視覚・聴覚の機能を制限して、高齢者の身に



高齢者疑似体験に引き続き開催された「認知症サポーター養成講座」。認知症について理解を深めることができ、サポーターの証である「オレンジリング」が配布されました

何が必要かを考える機会になっています。また、進路選択として介護福祉士を希望する生徒もいて、有意義な体験学習をすることができています。
引き続き、認知症サポーター養成講座が開催されました。埴町地域包括支援センターの認知症地域支援推進員・青砥喜代美さんから、認知症について講演をしていただきました。認知症に関する正しい知識と理解を得ることができ、地域や職域で認知症の人や家族に対して「できる範囲の手助けをしていきたい」と、生徒たちの意識も変わりました。最後には、受講した生徒たちに、認知症サポーターになった証として「オレンジリング」が配布されました。



意欲的に勉学に励む生徒ら。見事な結果を残しました

国家資格に多くの生徒が合格 県内でもトップクラスの合格率

- 【旋盤技能検定3級(6人)】
▽戸井田悠▽永山達也▽曲山允人▽山崎翔瑛▽柳田太一(機械科2年)▽生田目勇馬(機械科3年)
- 【危険物乙種全類(4人)】
▽曲山允人▽山崎翔瑛(機械科2年)▽金田進太郎▽鈴木雄人(機械科3年)
- 【第二種電気工事士(14人)】
▽小濱市裕▽佐川裕章▽島田海斗▽高橋愛斗▽古市智樹(電子科2年)▽戸井田悠(機械科2年)▽上妻竜弥▽國分架琉▽後藤優人▽鈴木敦也▽藤田龍希▽舟木太陽▽谷中亮▽吉田創(電子科3年)

2月22日(金)、見事に国家資格を取得した生徒らの輝かしい笑顔が見られました。高校生では難しいとされる「旋盤技能検定3級」「危険物乙種全類」「第二種電気工事士」の資格を取得した生徒は、右のとおり。授業のみならず、放課後や夏休みなども資格取得のために勉学に励み、見事に国家資格を取得することができました。担当教諭の先崎先生は「生徒らは資格取得に意欲的で、とても活気がある。学校の規模からみてもこの合格率は県内トップクラス。とても素晴らしい生徒ばかり」と、生徒らの資格取得を祝福しました。

図書館情報

3月のテーマ

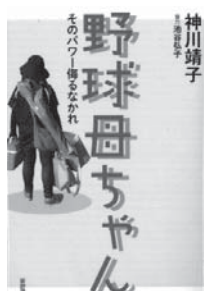


「いちばんのともだち」
ジェニファー・K・マン / 作
林 木林 / 訳
(光村教育図書)

●ものがたり
大切なぬいぐるみをどこかに忘れてしまって、この絵本の主人公のサムのように眠れない夜を過ごした経験のある人は多いことでしょう。ぬいぐるみのジャンプはサムが一番のともだちでしたが…。素敵な優しいお話です。

ともだちの本
図書館では毎月テーマを決め、そのテーマに関する本を集めたコーナーを設けています。今月も、その中から二冊の本を紹介いたします。今なお、読みたい本が貸し出し中の場合、予約もできます。(☎43-0808)

新刊案内



「野球母ちゃん
そのパワー侮ることなかれ」
神川 靖子 / 著
(新評論)

野球少年を子に持つ母たちの泣き笑いの日々。子どもの追っかけを経験中、また卒業した親たちにも感動・爆笑必至の本。

【図書館の開館・休館情報(3月)】

- 開館時間 火曜日から土曜日・・・午前10時から午後7時まで
日曜日・祝日・・・午前10時から午後5時まで
- 休館日 11日(月)、18日(月)、22日(金)、25日(月)



はなわスポーツクラブ通信3月号

4月からの募集教室を紹介します♪

今回は幼稚園児・小学生対象の教室のご案内です。
みなさんのご参加をお待ちしています。

◎クラブ会員の皆さまへ
年度ごとの保険の更新
手続きが必要となります。
また3・4月中は年
会費が100円引きです！
どうぞお早めに。

キッズクラブ(園児・小学生向け)

日時：毎週月曜日
午後3時30分から 園児
午後4時25分から 小学生
場所：埴町営体育館アリーナ
(7・8月：B&Gプール)

幼児活動研究会(株)コスモスポーツクラブの専門指導員による教室です。7・8月は水泳教室を実施します。

アスレチッククラブ(園児・小学生向け)

日時：毎週木曜日 午後6時30分から
場所：埴町営グラウンド
(雨天時：埴町営体育館剣道場)

走る、跳ぶ、投げるなど、あらゆるスポーツの基本となる動作を中心に、楽しく身体を動かします。

ふれあい体操教室(園児・小学生向け)

日時：土曜日(月1回) 午後4時から
場所：埴町営体育館柔道場
マット運動、とび箱など、専門指導員による教室です。

サッカー教室(小学生向け)

日時：毎週火曜日 午後7時から
毎週土曜日 午前9時から
場所：埴町営グラウンド
友情を育み、ルールやマナーを身につけましょう。

バドミントン教室(小学生向け)

日時：毎週金曜日 午後4時30分から
場所：埴町営体育館アリーナ
基礎から学び、ルールやマナーを身につけましょう。

いますぐ検索!

携帯電話からでも
アクセスできます

はなわスポーツクラブ

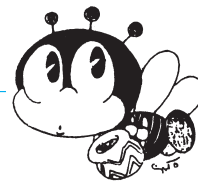
検索

HP内ブログにて、日々の活動の様子をアップしています。



NPO 法人はなわスポーツクラブ

http://hanawa-fsc.jp
埴町大字埴字桜木町 80 (埴町営体育館内)
☎ 0247-57-6589 FAX57-6587
mail:hanawa.fsc@gmail.com



マナビィ はなわ

～埴町生涯学習だより～ 3月号

発行：埴町教育委員会生涯学習課

問い合わせ

■生涯学習課

☎ 43-2644

■埴町公民館

☎ 43-0320

はなわ探検隊 第9回活動

水郡線に乗ってスペースパーク探検!

2月9日(土)、はなわ探検隊は1月に続いて埴町を飛び出し、水郡線に乗って『ふれあい科学館スペースパーク探検』の遠足に出かけました。

埴町立図書館に集合した隊員36人は、水郡線に乗車し、約1時間15分の旅を楽しみながらJR郡山駅を目指しました。スペースパークのある『ビッグアイ』に到着した隊員たちは、21階の展示ゾーン見学を行いました。トリブルスピーンやムービングジャンプ、宇宙探検シミュレーション体験をはじめ、宇宙に関するさまざまな展示物を見学し、隊員たちは科学への関心を大いに高めました。昼食にお弁当を食べた後、午後は巨大なドームスクリーンのプラネタリウムで冬の星空の世界を満喫し、大迫力のウルトラマンの映像を楽しんだ隊員たちは、さまざまな知識を吸収して埴町に戻って来ました。



水郡線の中でピース!ご機嫌な列車旅♪



体軽〜い♪月に行ったらこんな感じなの〜?



回すと色が変わるビー玉ゴマ作りに挑戦!



ビッグアイの入口でウルトラマンゼロと一緒に記念撮影

長寿学園最終講義—読み聞かせ講座・閉講式—

平成30年度長寿学園の最終講座を2月26日(火)に行いました。今回は、講師として埴町立図書館のスタッフを招き、大型の絵本と紙芝居で『読み聞かせ』を行い、学園生は物語の世界に癒されるとともに、子どもたちに読み聞かせを行う場面を想定して、熱心に聴き入っていました。

講座終了後の閉講式では、金澤祐介公民館長から、右記の皆さん(敬称略)へ皆勤賞と精勤賞(1回欠席)の表彰が行われました。

- | | |
|-----|-------------|
| 皆勤賞 | 近藤 久子(当世北野) |
| | 根本 ユキ枝(代官町) |
| | 根川 和代(当世中野) |
| | 鈴木 悦子(桜木町) |
| | 下重 治男(台宿) |
| | 深谷 礼子(川上) |
| 精勤賞 | 洋子(代官町) |
| | 近藤 キノ(上石井) |
| | 近藤 久子(上石井) |
| | 藤元 敏子(東河内) |
| | 小野 悦子(西河内) |
| | 小野 禮子(代官町) |

なかよしルーム参加者募集

3月のなかよしルームは、これまでの活動の写真をまとめながら、お別れパーティーをします。みんなでお楽しみ出し作りましょう!

日時：3月15日(金)
午前10時から11時30分
場所：埴町公民館2階和室
参加費：1家族300円(材料費)
持ち物：飲み物・食器
申込先：埴町公民館 ☎ 43-0320
※申込期限3月13日(水)



学園生の皆さんで集合写真

町指定文化財めぐり

埴小学校3年生

2月7日(木)、埴小学校の3年生44人を対象に、社会科学見学の町内の文化財めぐりをしました。児童たちは、埴町文化財保護審議会委員の解説を聞きながら、町指定文化財の薬王寺薬師堂(台宿)、陸奥代官埴陣屋跡(本町)、常世観音堂(常世中野)を見学し、地元文化財への理解を深めました。



委員の説明を熱心に聞く小学生

「シューティングスター」雪合戦全国大会出場

1月27日(日)、天栄村で開催された「雪合戦東日本大会2019」に出場したシューティングスター(代表・安達陽一さん)は、一般部で5度目の優勝を果たしました。3月2日(土)、3日(日)には、日本各地から24チームが参加した「第6回日本雪合戦選手権大会(長野県白馬村ジャンプ競技場特設会場)」に、東日本代表として出場し、大活躍で大会を盛り上げました。



埴子ども教室

「パステル画体験・閉講式」

2月28日(木)、今年度最後の埴子ども教室は、日本パステルアート協会認定インストラクターの穂積祥子先生(台宿)をお迎えし、パステル画体験を行いました。12人の参加者は、パステルの粉末をつけたカット綿で絵手紙用紙をぼかすように着色し、ねり消しゴムや綿棒を使って細かい部分を仕上げ、ふんわりとした色調の「虹」と「チューリップ」のパステル画を制作しました。閉講式では、大友栄範指導員から修了証の授与を行いました。



かわいい作品を手に大満足

夜のおはなし会 一町立図書館



パネルシアターに聴き入る参加者

2月23日(土)、午後6時から埴町立図書館で、夜のおはなし会を開催しました。用意したおはなしは、『かさじぞう(人物や小道具などをパネルに貼って進行するパネルシアター)』、『モチモチの木(大型絵本)』、『そばせい(落語絵本)』、『うたをうたうへそ(大型紙芝居)』の4つ。参加者がセリフを読んだり一緒に歌ったりする場面もあり、15人の参加者は趣向が凝らされた物語の世界に浸っていました。

情報くらしの報

◆ 埴町役場の電話番号（代表）
TEL 0247-43-2111
FAX 0247-43-2116

◆ 町のホームページアドレス
<http://www.town.hanawa.fukushima.jp/>

◆ 町のメールアドレス
soumu@town.hanawa.fukushima.jp

※ご意見・ご要望のある方はご利用ください。

【各課などの直通電話番号】

総務課	43-2111
町民課	43-2113
	43-2114
健康福祉課	43-2115
包括支援センター	43-2224
	43-2227
まち振興課	43-2112
	43-2118
まち整備課	43-2117
生活環境課	43-2148
会計室	43-2149
埴保育園	43-0377
議会事務局	43-2150
農業委員会	43-2119
学校教育課	43-4050
生涯学習課	43-2644
公民館	43-0320
図書館	43-0808
給食センター	43-0188
東白衛生組合	43-0378

相談

消費生活の悩みごとはありませんか
まち振興課

東白川郡内の消費生活相談会を開催しています。消費生活の悩みごとや分からないことなど、専門の相談員が対応します。お気軽にご相談ください。

日時
平成31年3月14日（木）
午前10時から午後4時

場所
埴農村労働福祉会館

問い合わせ
白河市消費生活センター
☎0248(22)1133

ため、説明会を開催します。

日時
平成31年3月28日（木）
午後2時30分から午後4時

場所
埴町商工会館

問い合わせ
埴町商工会
☎(43)0371

児童扶養手当・特別児童扶養手当をご存知ですか
健康福祉課

- 【児童扶養手当】
ひとり親家庭の児童のために支給される手当です。
- 【受給資格（児童扶養手当）】
- ① 父母が離婚した児童
 - ② 父または母が死亡した児童
 - ③ 父または母に重度の障がいがある児童
 - ④ 父または母の生死が不明である児童
 - ⑤ 父または母が引き続き1年以上遺棄している児童
 - ⑥ 父または母が母または父の申し出によりDV保護

おくやみ申し上げます
1月16日から2月15日までの届け出

亡くなられた方	年齢	住所
鴨志田きくい	83歳	植田
増子タキ子	77歳	川上
吉田和男	83歳	伊香
益子キヨ	96歳	台宿
笹嶋サト	75歳	川上
鈴木昭雄	89歳	川上
菊地ユキエ	91歳	西河内
近藤ヒサ	89歳	常世北野

※この欄に掲載を希望されない方は、届け出の際に窓口に申し出てください。

多重債務・貸金業などの相談窓口を開設しています
福島財務事務所

福島財務事務所では、返済しきれないほどの借金を抱え、お悩みの方々からの相談に応じています。借金の状況をお聞きし、必要に応じ弁護士・司法書士などの専門家に引き継ぎを行います。相談は無料ですので、お気軽にご相談ください。また、国や県の登録を受けずに貸金業を営む「ヤミ金融」には十分ご注意ください。ご利用されている貸金業者の登録状況に関する問い合わせや不正に利用されている預貯金口座に関する相談も受け付けています。さらに、地域コミュニティ活動や各種団体の会合向けに、さまざまなテーマでの出前講座（小学生から一般向け）を無料で行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

命令を受けた児童

- ⑦ 父または母が法令により引き続き1年以上拘禁されている児童
- ⑧ 母が婚姻によらないで懐胎した児童

【特別児童扶養手当】
身体または精神に障がいがある児童を監護または養育している人に支給されます。

【受給資格（特別児童扶養手当）】
身体または精神に中度または重度の障がいをする20歳未満の児童を監護している父もしくは母、または父母に代わって児童を養育している人それぞれの詳細については、お問い合わせください。

問い合わせ
健康福祉課 福祉係
☎(43)2115

【「なりすまし詐欺」にご注意ください】

平成31年1月末から東白川郡内の高齢者宛に地方裁判所

受付時間

月曜日から金曜日
（祝日・年末年始を除く）
午前8時30分から
午後4時30分
（正午から午後1時は除く）

多重債務相談電話番号
☎024(533)0064

問い合わせ
福島財務事務所
☎024(535)0301

労働での困りごとはありませんか
福島県労働委員会

職場の中で起きている賃金未払いや退職、パワハラなどの労使間のトラブルに関する困りごとや疑問についての相談をお受けします。相談は無料で、秘密は厳守します。相談は、平日の面談や電話での相談のほか、FAXや電子メールで随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

お知らせ

問い合わせ
福島県労働委員会事務局
☎024(521)7594

軽自動車の移転・抹消などの手続きはお済みですか
町民課

軽自動車税は、毎年4月1日現在で車検証に記載されている所有者または使用者に課税されます。軽自動車の登録内容に異動（移転・変更・抹消）がある場合は、3月末までに軽自動車検査協会などで手続きを済ませてください。

問い合わせ
町民課 課税係
☎(43)2113

自動車の登録・検査の手続きはお早めに
東北運輸局福島運輸支局

自動車の登録・検査手続きは、毎年3月に集中するため、窓口や車検場が大変混雑し、手続きの内容によって3時間以上かかることもあります。自動車の名義変更や住所変更、廃車、車検などの手続きはできるだけ早めに済ませていただくようお願いいたします。

問い合わせ
東北運輸局福島運輸支局
☎050(5540)2015

消費税軽減税率制度の説明会を開催します
埴町商工会

消費税軽減税率制度の準備は済みですか。埴町商工会では、消費税率の引き上げや軽減税率制度の導入など、日々の業務で何が変わるかに

皆さまのおかげです。

広報一枚写真部で特選・組み写真部で入選

平成30年中に発行された各市町村の広報紙を審査する「第64回福島県市町村広報コンクール審査会」が、1月24日（木）に福島市で開催されました。その結果、広報はなわ4月号（20頁）に掲載した「埴中学校卒業式」の写真が、一枚写真部で県最高賞の特選に、12月号に掲載した「出羽神社例大祭」が、組み写真部で入選に選ばれました。一枚写真については、今後県の代表として、全国に出品されます。

この受賞は、町民皆さまのご協力のたまものです。これを励みに、より一層皆さまに愛される広報紙を目指してまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。



▶一枚写真部で特選を受賞した平成30年4月号20頁「埴中学校卒業式」



▲組み写真部で入選を受賞した「出羽神社例大祭（平成30年12月号）」

町が独自に調査した放射線測定値を報告します

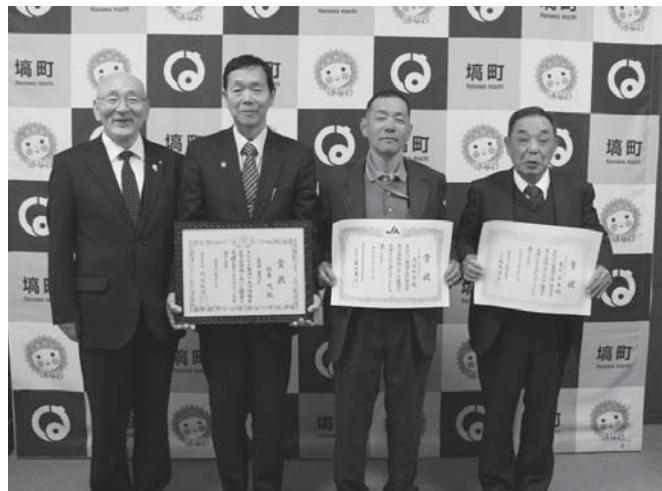
（町内35カ所）

片貝分館	折笠集会所
2/14 0.08	2/14 0.08
埴町役場	西河内分館
2/14 0.07	2/14 0.07
道の駅はなわ	堀越集会所
2/14 0.08	2/14 0.07
上洪井集会所	小高集会所
2/14 0.07	2/14 0.08
台宿分館	東河内分館
2/14 0.08	2/14 0.10
稲沢集会所	一本木集会所
2/14 0.10	2/14 0.09
上石井分館	中塚集会所
2/14 0.08	2/14 0.10
吉成運送第2倉庫前	笹原地区公民館
2/14 0.09	2/14 0.08
伊香分館	川上四区集会所
2/14 0.08	2/14 0.10
古宿屯所前	大蔵分館
2/14 0.09	2/14 0.11
高城地区公民館	前田集会所
2/14 0.08	2/14 0.09
真名畑分館	木野反分館
2/14 0.09	2/14 0.07
常豊地区公民館	湯遊ランドはなわ
2/14 0.07	2/14 0.07

単位：マイクログシーベルト / 時間
地上1mで測定

※測定機器：シンチレーションサーベイメータ 日立アロカ TCS172
※福島県ホームページにおいて、福島県放射線測定マップが公表されています。

Town Topics



2月8日(金)の表彰式後に宮田町長(左)に受賞を報告した鈴木茂さん、渡邊松吉さん、本多永典さん(右から2、3、4)

塙の花きが金賞などを受賞

—鈴木茂さん(山形)の枝物が金賞(福島県知事賞)を受賞—

2月8日(金) 第45回福島県花き品評会に出品した作品が、金賞をはじめ各賞を受賞しました。審査会は昨年8月に行われ、県内各JAから出品された164点の中から、鈴木茂さん(山形)の枝物が金賞(福島県知事賞)、小室幸良さん(東河内)が銀賞、渡邊松吉さん(片貝)が銀賞と銅賞、本多永典さん(真名畑)が銅賞を受賞しました。県内全作品から3点しか受賞できない「金賞」受賞は、一昨年、昨年のダリアに引き続き、3年連続の快挙となりました。鈴木さんは「皆さんに感謝。一生懸命やったかいがあった」と、受賞の喜びを語りました。

高齢者を火災や詐欺から守る

—塙分署と塙駐在所が合同で一人暮らし宅を訪問—

2月22日(金) 春季全国火災予防運動に併せ、棚倉消防署塙分署と棚倉警察署塙駐在所が合同で、一人暮らし宅を訪問し、火災予防やなりすまし詐欺への注意喚起を行いました。訪問には、地区の民生児童委員が同行し、住宅用火災警報器の設置や機種交換、調理中の着衣着火の注意指導、救急医療情報カードの確認などに併せ、なりすまし詐欺の被害に遭わないよう注意喚起が行われました。なお、訪問は2月26日(火)まで常豊地区を中心に行われ、約30件を訪問し、高齢者に注意を呼びかけました。



一人暮らし宅を訪問し、注意を呼びかける塙分署(左)と塙駐在所(右)

塙工高の魅力を体験

—塙中学校2年生を対象に中高連携授業—

2月14日(木) 塙中学校と塙工業高校の中高連携授業が、塙中学校2年生を対象に同校で行われました。塙工高の小山裕治先生(電機部顧問)を講師に迎え、近年の塙工高の活躍などが紹介された後、昨年10月に電機部のチーム「オリオンズ」が、第26回全国高等学校ロボット競技大会でベスト16という輝かしい結果を残したことや生徒たちの努力、エピソードなどを紹介しました。その後、中学生たちは「オリオンズ」のメンバーが、全国大会後に「何か作りたい」と言って製作したロボットを実際に動かし、先輩たちの技術の高さやものづくりの魅力に触れることができました。



塙工高電機部が製作したロボットに興味津々の中学生たち



箭内道彦さん(左)、TOSHI-LOWさん(中)、松田晋二さん(右)が「水郡線ズ」を組み、セッション。観衆を魅了しました



会場は超満員で立ち見でいっぱいになりました



トークショーに出演した遠藤すい子さん(左)、川村空也さん(中)、大竹孝和さん(右)



会場の外は多くの出店が立ち並びました

塙の魅力を再発見 そして発信

—風とロック CARAVAN 福島 in 塙町が開催—

2月23日(土) 塙町公民館で「風とロック CARAVAN 福島 in 塙町」が開催され、ラジオの公開生放送がありました。ロックバンド THE BACK HORN のドラマー松田晋二さん(塙町出身)や郡山市出身のクリエイティブディレクターの箭内道彦さん、ロックバンド BRAHMAN の TOSHI-LOW さんらが歌やトークで、超満員の観客を盛り上げ、松田さんは塙工高和太鼓部とセッションしました。会場の外では、町内の出店が立ち並び、県内外からのお客さまをもてなしました。地元ゲストの道の駅はなわ理事・大竹孝和さん、地域おこし協力隊の川村空也さん、ふるさとカフェ矢塚分校の遠藤すいさんが出演し、塙町の特産品・観光・ダリアのPRを行いました。また、塙町出身のラッパー狐火さんがラップを披露しました。来場されたお客さまは「塙町のもてなしがとてもよかった」、「こんなにお客さんが多いのは初めてだ」、「また塙町にきたい」などの声があり、大盛況の一日となりました。



このコーナーでは、東京協会の皆さんの住む街のことや近況について紹介しています。

私の住む街Now

鈴木 充さん

埼玉県宮代町在住（大蔵出身）

-Vol.48-

埴町と宮代町を繋ぐ

皆さま、初めまして。このたび、東京協会に入会させていただきました鈴木充と申します。私は、大蔵出身です。年に一度、欠かさず里帰りしています。

埴町を出て、最初は埼玉県川口市で建築の修行をして、昭和51年に現在の住居地である南埼玉郡宮代町で建築事業を立ち上げました。西暦1976年ですから、もう43年になりますね。埼玉県南埼玉郡宮代町ってどこですか？と思うかもしれませんが、鉄道ですと東武鉄道です。東京浅草から栃木県日光鬼怒川または、群馬県伊勢崎を通る東武動物公園駅が宮代町です。

埴町は、個人で頑張る飲食店が多い町です。大型店も数多くありますが、相互に切磋琢磨し、発展してにぎわいのある町です。自然環境を残しながら、町づくりをしているので、子育て支援は、保育園、幼稚園などの教育分野も優れている町です。東南は春日部市、西は久喜市、南は白岡市、北は杉戸町といった所です。

近年では、高速道路の開通により、大型ショッピングモールや物流倉庫、工場と著しく変化を見せています。首都圏から40kmということもあり、利便性が高いところも人気なのかもしれません。私も、第二の故郷として、この町に溶け込んで

頑張っています。去年からは、宮代町の商工会の会長を仰せつかり、会社と商工会で多忙ではありますが、しっかりと務めております。いつの時代も、人が行き交う町づくりを目指して、会員皆さまと一致団結して活動に励んでいます。今年は、いろいろなことが多く、大変な年になると思いますが、何が大事であるかしっかり模索しながら対応していく所存です。地方統一選挙で始まり、新天皇の即位、元号が変わり消費税が上がります。今後における日本経済はどうなるのか、埴町の皆さまも一度、埼玉に来てみてください。東日本大震災の避難場所だった、さいたま新都心のスーパーアリーナがあります。浦和レッズの本拠地の埼玉スタジアム2002、所沢に西武ライオンズの西武ドームと、見どころはたくさんあります。これからも、埴町と情報交換しながら相互にメリットのある事業などをしていければと思っています。東京協会に少しでもお役に立てますよう、努力を惜みず、一生懸命努めてまいりますので、よろしく申し上げます。

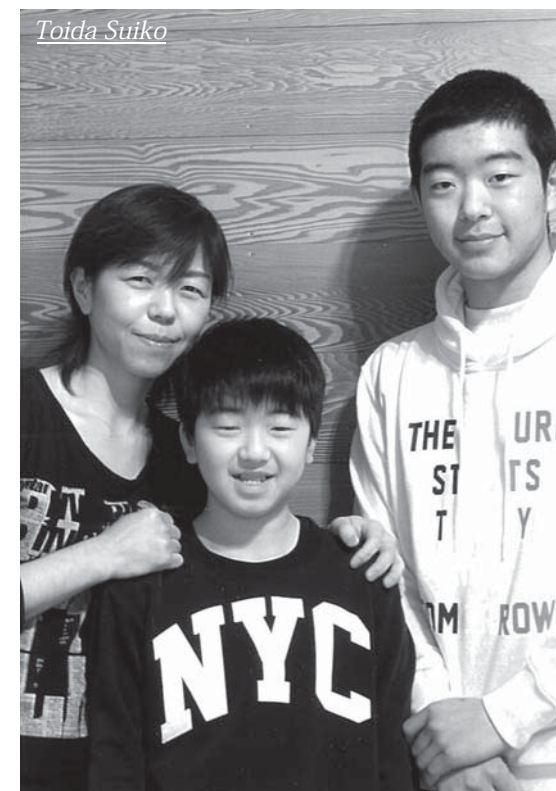
随想リレー

お待ちかね！
あなたの出番です。

-Vol. 352-

といだこ
戸井田 スイ子さん(台宿)

職 業：調理員
趣 味：バレーボール
好きな言葉：一生懸命



「活力」

埴町に嫁いで17年。私には、高校2年生と小学5年生になる息子がいます。祖父の薦めもあり、長男は剣道を始め、その姿を見ていた次男も同じ道に進みました。

学生時代サッカー部だった夫やバレー部だった私にとって、武道は未知の世界。初めは戸惑いの連続でした。胴着、袴のたみ方から始まり、応援の仕方（平常心を重んじるため、拍手のみ。「頑張れ」などのかけ声はタブー）、子どもたちのサポートの仕方など、たくさんのお話を、先輩お父さんお母さん方から教えていただきました。子どもたちはというと、皆同じ目標に向かって突っ走り、つらい思いを共有したことによって絆が生まれました。試合があ

ると、どこへでも応援に駆けつけてくれる祖父の存在が、一番の活力であったと息子は言います。

祖父の喜ぶ顔が見たいと頑張る長男。兄に追いつきたいと奮闘する次男。子どもたちに負けてはならないと仕事にいそむ私たち夫婦。頑張ることがあるということに、幸せを感じています。

今回、このような機会をいただき、たくさんの方に支えられ、助けていただいていると改めて感じました。これからは、子どもたちの成長を見守るとともに、感謝の気持ちを忘れることなく過ごしていきたいと思えます。皆さん、本当にありがとうございます。そして、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

【今回は戸井田さん(台宿)です】

心温まる善意に感謝(2月分)

■子育て地藏尊世話人・ふれあいネットサークル 様
子宝・安産御守り 30個



子どもたちを地域で見守り、若い世代の子育てを応援したいという思いで寄贈いただきました。世話人と同サークルが、ボランティアで一つつ手作りし続けている御守り。参拝者に配ったところ「子どもに恵まれました」との喜びの声も。町では、母子健康手帳を交付する際に、この御守りをお渡す予定です。(写真④ 宮田町長に御守りを寄贈する子育て地藏尊世話人とふれあいネットサークル・写真⑤ 寄贈された御守り)

こんにちは赤ちゃん

1月16日から2月15日までの届け出

出生児名	父	母	月/日	住 所
小松 京右くん	俊 介	祐 子	1/28	本 町
小松 稜空くん	将 希	明 恵	2/1	台 宿



のびのび すくすく

埜町は、むし歯ゼロを目指しています。

2月26日(火)に行われた3歳児健診(受診者16人)で、むし歯が1本もなかった子どもたち15人を紹介します。これからも、むし歯ゼロに向けて、歯みがきをきちんとしましょうね。



上妻璃久くん
(西河内)



鈴木涼くん
(代官町)



佐藤悠久くん
(堀越)



鈴木凱斗くん
(西河内)



神永寧愛ちゃん
(未広町)



篠田心都ちゃん
(植田)



高橋皇羽くん
(中塚)



河野純之介くん
(東河内)



近藤優菜ちゃん
(未広町)



鈴木湊登くん
(上石井)



緑川蒼生くん
(台宿)



坂本純絆くん
(柳町)



鈴木蒼くん
(台宿)



吉田新柳ちゃん
(台宿)



深谷瑠々羽ちゃん
(上石井)

● 休日の当番医

3月10日(日)	あらまちクリニック ☎ 33-8018	3月31日(日)	大木医院 ☎ 33-2424
3月17日(日)	つちやクリニック ☎ 43-2250	4月7日(日)	深谷クリニック ☎ 33-3223
3月21日(木)	東館診療所 ☎ 46-2312	4月14日(日)	車田病院 ☎ 43-1019
3月24日(日)	和田医院 ☎ 33-2012	4月21日(日)	おおひら整形外科クリニック ☎ 33-9468

● 町の人口 8,770人(2月1日現在)

男性 4,328人 (-9) 世帯数 3,284世帯 (+3)
女性 4,442人 (-2) ()内は前月比

※広報はなわの「町の人口」は、住民基本台帳の人口、世帯数を掲載しています。

▼今月は、公共交通について掲載させていただきました。多くの方の交通の足となる一方、その運営に多くの課題もあります。高齢者や学生さんなどには欠かせない交通手段となっていない公共交。多くの方の意見や実証実験などを経て、より良い生活の実現ができればと思います。▼今年度は暖かい日が続く、雪も少なく穏やかな日が多いです。花粉、ニュースなどでも昨年の5倍にもなるという情報もあります。私もですが、花粉症の皆さんにはつらい季節がやってきそうです。早めに対策をしながら乗り切りたいと思います。(松)

編集後記

● 今月の納税など

町 県 民 税 随期
国民健康保険税 随期
後期高齢者医療保険料 随期
介護保険料 随期
納 期 限 4月1日(月)

◆口座振替日は3月25日(月)です。



マチを好きになるアプリ



android 用



ios 用

広報はなわをスマートフォンへ配信中

発行・編集／埜町役場 〒963-1549
印刷／佐藤印刷所 総務課 福島県東白川郡埜町大字塙字大町三丁目21番地
FAX (0224) 431211